

港湾・貿易

港湾

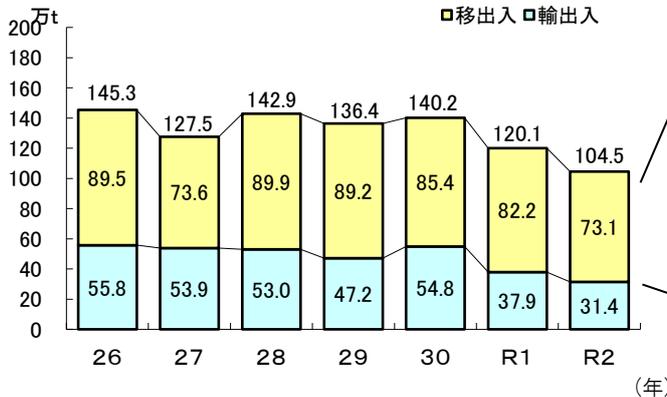
重要港湾である留萌港は、旭川を中心とした上川・留萌・空知地域の産業や生活を支える流通拠点港となっており、国際貿易港に指定されています。

留萌港の最大水深岸壁である三泊地区-12m岸壁は、3万トン級の大型船の利用が可能であり、大量低コスト輸送に対応した岸壁となっています。

また、同岸壁は耐震性強化岸壁として整備されており、震災時における緊急災害物資の海上輸送を確保する防災拠点としても大きな役割を担っています。

このほか、管内には増毛、羽幌、天売、焼尻、天塩の5つの地方港湾を有しています。

留萌港貨物取扱量の推移



留萌港貨物取扱量 (令和2年)

(単位: 万t)

移入	67.3	移出	5.8
石油製品	46.1	原木	4.9
セメント	12.5	麦	0.6
その他	8.7	その他	0.3

輸入	31.4	輸出	0.0
石炭	28.8	原木	0.0
石油製品	0.6		
窯業品	1.1		
原木	0.2		
その他	0.1		

(留萌市経済港湾課調べ)

留萌の貿易

貿易額

令和2年(速報値)の留萌港における輸出入貿易額は、約39.8億円(対前年比62.5%)と減少しました。

輸入実績は約39.8億円(対前年比62.3%)と減少し、たらいについても、約221トン(対前年比35.0%)と減少しましたが、にしんは約1572トン(対前年比280.0%)と増加しました。

また、石炭、木材ともに数量・価額は減少しました。(主な内訳)

品目	貿易額	対前年比
魚介類	4.55億円	73.8%
木材	1.41億円	52.8%
石炭	24.20億円	78.5%

輸出は、H26から中国・韓国への木材輸出が始まっており、H26は約1.03億円、H27は約1.89億円、H28は約1.01億円、H29は約1.10億円、H30は1.16億円、R1は0.8億円、R2は0円と推移しています。

貿易船

令和2年に留萌港に入港した外国貿易船は33隻で、前年より4隻減少となっています。

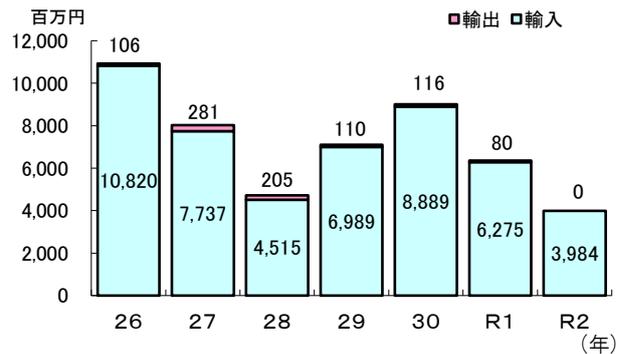
(主な内訳)

パナマ籍(20隻)、韓国籍(2隻)、ペリズ籍(2隻)、ロシア籍(0隻)、香港籍(1隻)、その他(8隻)

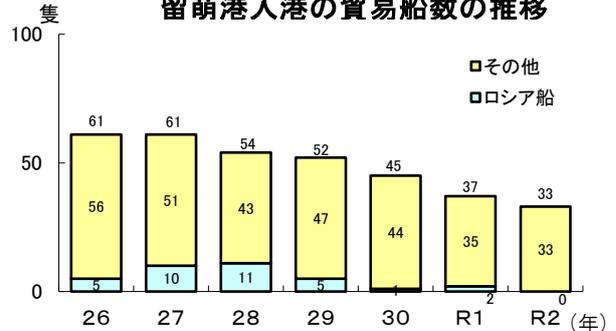


留萌港から韓国へのトマト輸出

留萌港の貿易実績の推移



留萌港入港の貿易船数の推移



輸入品目の構成比 (令和2年)

【令和2年は速報値】

